

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」

○保健体育科における取組

保健体育科での取組の詳細（項目を立て、最大3～4事例）

保健体育科では、ボール型競技におけるチームプレイを検討するために、タブレットで俯瞰的な映像を撮影し、生徒同士の学びを深化するための工夫をしている。右の写真は、バスケットボールの試合を上部から撮影し、本時の課題である「空間を上手に使う」ことを達成するために、生徒自身が相互に撮影をしている様子である。チームで話し合いをする際に生徒個々に設定した目標や課題を達成するために、映像を使用し、感覚的な協議ではないものとなるよう工夫していた。

また、幅跳びやハードル走、持久走におけるフォームを映像で撮影し、協議を行うことで理想的なフォームに近づける手立てとしていた。体育祭のリレーでも減速の少ないバトンパスを目指し、映像からリードのタイミングや距離、渡し方に至るまで様々な視点にフォーカスして技能の習得につなげられた。

来年度に向け、水泳時の健康チェックのカードや各単元の学習カードのデジタル化を試行しており、生徒情報管理の効率化につなげていきたい。



○技術・家庭科における取組

技術科：技術では、技能の習得において映像の利用および教師の市販映像に加え、生徒が検索によって各サイトから発見した資料等（例えば、目的のプログラミング、工具の上手な使い方、製図の描き方など）をリスト化することで活用し、生徒個々のスキルを向上させることができた。

家庭科：家庭科では、1年生「自分の成長と家族・家庭生活」の分野において、誰もが平等に仕事を行い、家庭生活も大切にすることができるワーク・ライフ・バランスについて理解し、客観的に家族の気持ちを理解し、その意識をもって家族性別関係なく支え合い問題を解決していくため、ロールプレイングを取り入れた。班で役割分担を行い、発表時に事前に撮影したロールプレイング動画を流した。ICTの活用を通して、全体に発表することが難しい生徒や、照れてしまい上手く表現できない生徒の負担を減らすことができた。また、ICT活用が得意な生徒は自ら編集を行い、より分かりやすいロールプレイング動画の作成を行うことができた。